

【解説】「くすりの形」

国民の多くは「化学構造式」にアレルギーをもちます。このポスターの目的の一つは、薬のカタチを通じて化学構造式に興味をもってもらうことです。

星の位置を単に記憶するのは退屈です。しかし、星座に置き換えてしまうと、なぜか興味が湧いてきますね。このポスターでは、同様の試みを薬の構造式で行います。人類が生み出してきた多くの薬の中から、最近よく使われている比較的新しい薬や、長く使われている一般的な薬をとりあげて、化学構造式とその形を模したイラストを並べました。

この企画の発端は edX です。edX はハーバード大学とマサチューセッツ工科大学が始めた国際オンライン教育機関。世界の有名大学が無料で講義を提供しています。その edX に、京都大学は日本初の講義「The Chemistry of Life（生命の化学）」を提供しています。2014 年、この講義を世界中の 2 万人が受講しました。その講義の中で、薬の化学構造式に似たイラストを募集したところ、2780 個のデザインが集まりました。その代表例をプロのアーティストが書き直したのが、このポスターのイラストです。

風邪薬に入っているメチルエフェドリンや、皆さんお馴染みのオセルタミビル(商品名：タミフル)もありますね。日本で発見された薬も多く、我が国が人類の健康に貢献していることがわかります。分子量（化合物の大きさの目安）の順番に薬を並べてみました。下にある化合物ほど、大きなものになっています。化学構造式の読み方や薬の効き方について簡単な説明も加えました。興味をもった人は、もっと詳しく調べてみましょう。

薬は「魔法」ではなくて「科学」です。科学が薬を生み出します。このポスターを見る子どもたちが科学者になって、難病を治癒する新薬を生み出してくれることを願います。

京都大学教授（化学・薬学）上杉志成

京都大学教授（芸術学）土佐尚子

京都大学教授（教育学）飯吉透